

2学期が始まりました！

夏休み、お子様は元気に過ごせたでしょうか。年々暑さが厳しくなっていますが、今年はさらに厳しくなったように思います。「熱中症警戒アラート」も当たり前のように連日発令されていました。子どもたちが熱中症で倒れてはいないか気がかりでしたが、幸いにも夏休み中に学校への緊急連絡もなく、無事に子どもたちが2学期のスタート迎えることができました。たいへんうれしく思います。

まだまだ残暑は続きますが、暦の上ではもう秋です。「〇〇の秋」という言葉のとおり、何をするにしても、取り組みやすい季節となっていくます。2学期の終わりには、子どもたち一人ひとりが大きな収穫を得て、実りの秋を実感できるように、私たち職員も1学期以上に励んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

【2学期にがんばりたいこと】

- 2学期にがんばりたいことは、かけ算です。どうしてかということ、計算が難しそうだし、ぼくは、もともと計算が苦手だからです。難しいとは思ひますが、がんばります。他に、2学期にがんばりたいことは、国語の漢字をがんばりたいです。どうしてかということ、お姉ちゃんにこれから勉強する漢字を見せてもらったから、難しそうだからです。2学期も元気にがんばります。(2年OH)
- 私が2学期にがんばりたいことは、漢字です。4年生の漢字に比べて、5年生の漢字は難しいので、覚えることが難しかったです。テストでもあまり覚えていなかったから、2学期はしっかり覚えて、テストで100点を取りたいです。そして、夢である警察官を目指してがんばっていきます。(5年NK)
- 2学期にがんばりたいことは、委員会活動です。特に、代表委員会をもっとがんばりたいです。ぼくは、あくのうらプロデュース委員会に入っています。だから、代表委員会に出席しなければいけません。しかし、緊張して声が小さくなってしまふので、2学期は堂々と声を出してがんばります。そして、より良い飽浦小にしていきたくひです。(5年TY)

【長崎っ子の約束 あはは運動】

2学期は、子どもたちが1年間で最も成長できる学期です。様々な成長を遂げていくための土台をつくるのが「あはは運動」です。今一度ご確認いただき、お子様の健やか成長のために積極的な取組をお願いします。学校での指導も強化していきます。

- ㊦ あいさつ・へんじ げんきよく！(人との付き合いは、あいさつから)
- ㊦ はやね・はやおき・あさごはん！(基本的な生活習慣は、人間形成の土台)
- ㊦ はきものそろえ いいきもち！(相手を思いやり、気持ちのよい環境づくりができる子どもに)

あはは運動のあいさつ・へんじとあわせて、ていねいな言葉遣い、思いやりのある言葉遣いができる子になるようこれからも指導を続けていきます。正しい言葉遣いは、子どもたちの生きる力の向上につながります。まずは、何より私たち大人がそのお手本とならなければいけないと思ひています。

【9月の行事予定】

- 1日(金) 第2学期始業式 集団下校 安全の日
- 4日(月) 体位測定(1・2・3年)
- 5日(火) 体位測定(4・5・6年)
- 6日(水) 心の時間
- 7日(木) チャレンジタイム(オリエンテーション) 委員記活動
- 8日(金) ピースデイ
- 11日(月) 夏休み作品展(～15日)
- 12日(火) 6年校内研究授業(2校時)
- 13日(水) 授業参観・懇談会 1年親子ブラッシング指導 6年修学旅行説明会
- 14日(木) チャレンジタイム(体力) 代表委員会・ボランティア活動
- 17日(日) 家庭の日
- 18日(月) 敬老の日
- 20日(水) 5年野外宿泊学習(～22日;日吉自然の家)
- 21日(木) チャレンジタイム(算数)
- 23日(土) 秋分の日 丸尾中校区清掃活動(9:30～11:30)
- 26日(火) 食育指導(2・3年、1年)
- 27日(水) 全校集会 あくりゅうクラブ
- 28日(木) 6年劇団四季観劇会(午後;ブリックホール)
チャレンジタイム(体力) 集団下校
- ※30日(土) 親愛園運動会(本校体育館)

【チャレンジタイム】

これまで木曜日の昼の活動時間(13:25～13:40)に基礎基本の時間を設定し、各学級で基礎的・基本的な学習に取り組みさせてきました。しかし、週に1回、わずか15分の取組でしたので、その効果がよく分かりませんでした。

そこで、2学期は、子どもたちのより良い学力向上と体力向上を目指して、この時間を「チャレンジタイム」と改め、学力向上と体力向上へのチャレンジの時間とします。各月の1週目は国語、2週目は体力、3週目は算数、4週目は体力という具合に進めていきます。

1週目と3週目は家庭学習での頑張りが結果として見えるように、国語の基礎基本(漢字等)の検定、算数の基礎基本(計算等)の検定を行います。月に1回ずつの検定に向けて、子どもたちが家庭学習を工夫していくことをねらいます。2・4週目は、基礎的な体力の向上への取組を全校一斉に行っていきます。長縄跳びをしたり、キャッチボールをしたり、取り組む種目は様々ですが、「フィットネスチャレンジながさき」にも登録し、記録を目標にしながら、うきうきみんなでチャレンジできるようにしていきます。体力の向上は、子どもの健康の保持増進だけでなく、学力の向上にもつながると考えています。

《校長室の窓から》

アフリカに「ひとりの子どもを育てるには、ひとつの村が要る」という格言があるそうです。「子どもが育つ」ということは、身体的な成長だけでなく、多くの人との関わりの中で、社会性など様々な力を育てていかなければならないということの意味しているそうです。

生物学上、人間は他の生物とは違う特性を多く持っています。その一つが、「子どもを産むことができなくなっても、長く生きることができる」ことです。

生物の多くは、生殖機能がなくなるとその役目を終えます。しかし、人間は違います。それぞれの役目をもって、社会集団の中で生きていきます。10代には10代の役目、40代には40代の役目、70代には70代の役目があるということです。

しかし、現代社会では、そうした世代の役目がやや薄れてきているようです。時代は変わっていても、それぞれの世代には、それぞれの役目があり、社会集団の中でもつその役目には、間違いなく大きな意味があると思います。

「ひとりの子どもを育てるには、ひとつの村が要る」の格言のように、「飽浦小学校の子どもを育てるには、飽浦小学校区の地域が要る」と言えます。飽浦小の子どもたちを育てるには、周りにいるすべての人のそれぞれの役目が必要です。子どもたちの健やかな成長を願って、そんな地域とのつながりを大切にしていきたいと強く願っています。